



地域での ごみ減量・リサイクル

子育て・環境・魅力づくり部会

部会まとめの報告

「地域でのごみ減量・リサイクル」

- 1 検討の経過
- 2 「ごみ減量・リサイクル」
に係わる現状と課題
- 3 部会まとめ

1 部会検討の経過

- ・ 9月～1月まで4回の専門部会を開催。
- ・ ごみ減量・リサイクルに係わる現状と課題を整理。
- ・ 地域でごみ減量や再資源化を進めるため、どのような取組みが必要かを検討。
- ・ 今後の取組みを3つにまとめた。



2 「ごみ減量・リサイクル」 に係わる現状と課題

一般廃棄物処理の現状と課題

(1) 最後の埋立処分場

平成40年には、埋立処分場が満杯になる。

(2) 依然として高水準のごみ量

資源物も含めたごみの総排出量は、依然として高水準で推移し、発生・排出抑制が進んでいない。

一般廃棄物処理の現状と課題

(3) 伸び悩む資源化量

資源集団回収量の停滞や分別収集の遅れ等によって、資源化量が伸び悩んでいる。

(4) 多額のごみ処理費用

ごみ処理費用は年間 1 7 0 億円を超えており、効率的な廃棄物処理事業を行う必要がある。

一般廃棄物処理の現状と課題

(5) 情報の共有化の推進

情報を積極的に提供し、環境学習の機会を広げていく必要がある。



家庭ごみの排出状況

	H14年度	H16年度	H18年度
普通ごみ	356,409トン	307,754トン	308,769トン
その他ごみ	39,088トン	32,828トン	34,363トン
合計	395,497トン	340,582トン	343,132トン

減少傾向にあるものの、依然、高レベルで推移

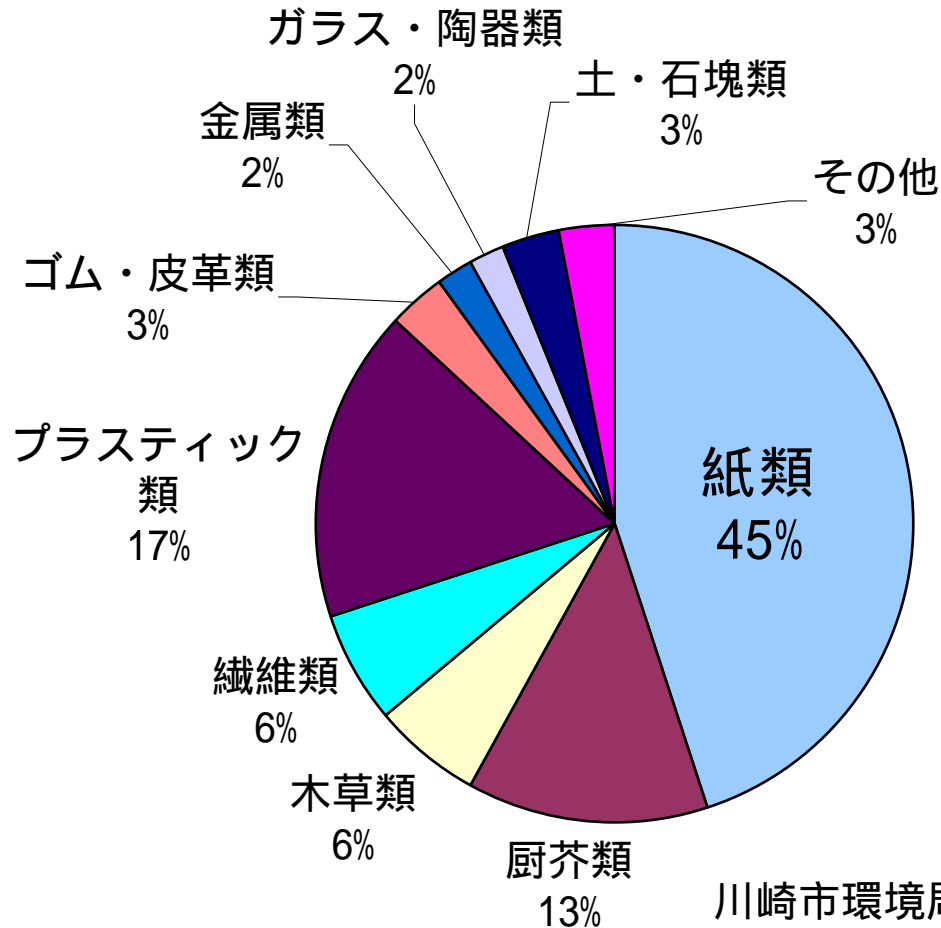
一世帯一日当たりの排出量

(平成18年度)

	幸区	全市
家庭系ごみ 年間総量 (t)	32,343t	343,132t
一世帯一日平均 収集量 (kg)	2.0kg	2.2kg

1番少ない中原区：1.9kg、7番目川崎区：2.6kg
幸区は2番目に少ない。

ごみの内訳（平成17年度）



紙類が全体の45%を占めている

紙類を減らす取り組みが急務

家庭ごみの処理原価

(平成17年度)

普通ごみの処理には、1トンあたり
39,271円の経費がかかっている

ごみ減量・再資源化の取組

かわさきチャレンジ・3Rの推進

リデュース（ごみの発生・排出抑制）

食べ残しをしない。買い物袋を抑制する。

リユース（再使用）

ビンのような再度使えるものを増やす。

リサイクル（再生利用）

やむを得ず出たごみは、可能な限り資源物に。

ごみ減量・再資源化の取組

出前ごみスクール・ふれあい出張講座



分別ゲーム



ごみ収集車のしくみ(スケルトン車)

ミックスペーパー分別収集 モデル事業の拡大

ミックスペーパーとは

菓子箱・ティッシュ箱・封筒・紙袋・投込チラシ・トイレットペーパーの芯・包装紙・コピー用紙・メモ用紙・ダイレクトメール・パンフレット・リーフレット・画用紙・シュレッダー紙・写真・感熱紙・レシート・合成紙・紙コップ・カーボン紙など

- ・ 通常禁忌品とされる下線の古紙も対象
- ・ 窓付き封筒やクリップ、ホチキスも処理可能



(出し方)
・紙袋に入れる
・包装紙で包む
・ひもで結ぶ
などで中身が出ないようにし、テープなどで止めて出す

ミックスペーパー分別収集 モデル事業

平成18年11月から、川崎区・幸区の一部地域で、普通ごみを収集しない日にモデル実施している。

- 平成18年11月から
戸手本町1丁目、2丁目
(約2,400世帯)
- 平成19年4月から
小倉の一部で実施(約5,000世帯)

ミックスペーパー分別収集 モデル事業の課題

環境局の調査結果

普通ごみの中に、約9%のミックスペーパーと約12%の資源集団回収の対象古紙が混入していた。

ミックスペーパーとして出されていた中に、資源集団回収の対象古紙が約13.5%含まれていた。

資源集団回収事業とは

家庭から排出される資源化物（古紙・古布・生きびん等）を市民が集団で回収する事業。

回収された資源化物は、リサイクル業者に引渡され、リサイクルされる。

減量化及び資源の有効利用を図るため、助成を実施。

回収事業実施団体奨励金（3円/kg）

回収業者報奨金（1円/kg）

普通ごみ・資源集団回収量

	H14年度	H16年度	H18年度
普通ごみ 収集量	356,409t	307,754t	308,769t
資源集団 回収量	51,150t	52,221t	51,519t
合計	407,559t	359,975t	360,288t
比率	12.6%	14.5%	14.3%

3 部会のまとめ

(1) ごみを減らす取組みとして、レジ袋でなくマイバッグを利用しましょう

～ できることから無理のない

取組みとしてはじめてみよう ～

マイバッグの利用促進のためには、商店街などに協力してもらい、一緒にマイバック利用を奨励する取組みを行う。

協力商店街でのマイバッグ持参者への特典サービスなど、取組みのきっかけと参加の仕掛けをつくる。

新しく幸区民になった方へ転入時にマイバッグ利用促進の啓発物やチラシの配布を行う

3 部会のまとめ

(2) 「出前ごみ講座」等を開催して、
地域で3Rの取組を知ってもらい
ましょう

出前ごみスクール

(市内 H17年度15校、H18年度 47校)

ふれあい出張講座

(市内 H17年度4団体、H18年度11団体)

3 部会のまとめ

(2) 「出前ごみ講座」等を開催して、
地域で3Rの取組を知ってもらいましょう

～ 地域でごみの減量・リサイクルを
学んでもらい、協力してもらおう ～

様々な団体等と協力して、身近な地域での出前ごみ講座の開催を増やして多くの方に参加してもらおう。

出前ごみ講座等を修了した方は啓発物がもらえるなど参加する楽しみをつくる。

3R推進などの広報ステッカーを、ごみ集積場など見える場所に掲示し取組みを知ってもらおう

3 部会のまとめ

(3)地域での資源集団回収を広めましょう

～ 活動の輪を広げる、実施回数を増やすなど、毎週、身近な地域で資源集団回収が行われるようにしよう ～

集団資源集団回収の実施場所や日程などがわかる情報マップをつくる。

焼却しないで済むので環境に優しいこと、奨励金がPTA活動など地域活動に役立っていることなど広報を行い、活動団体や参加者を増やす。